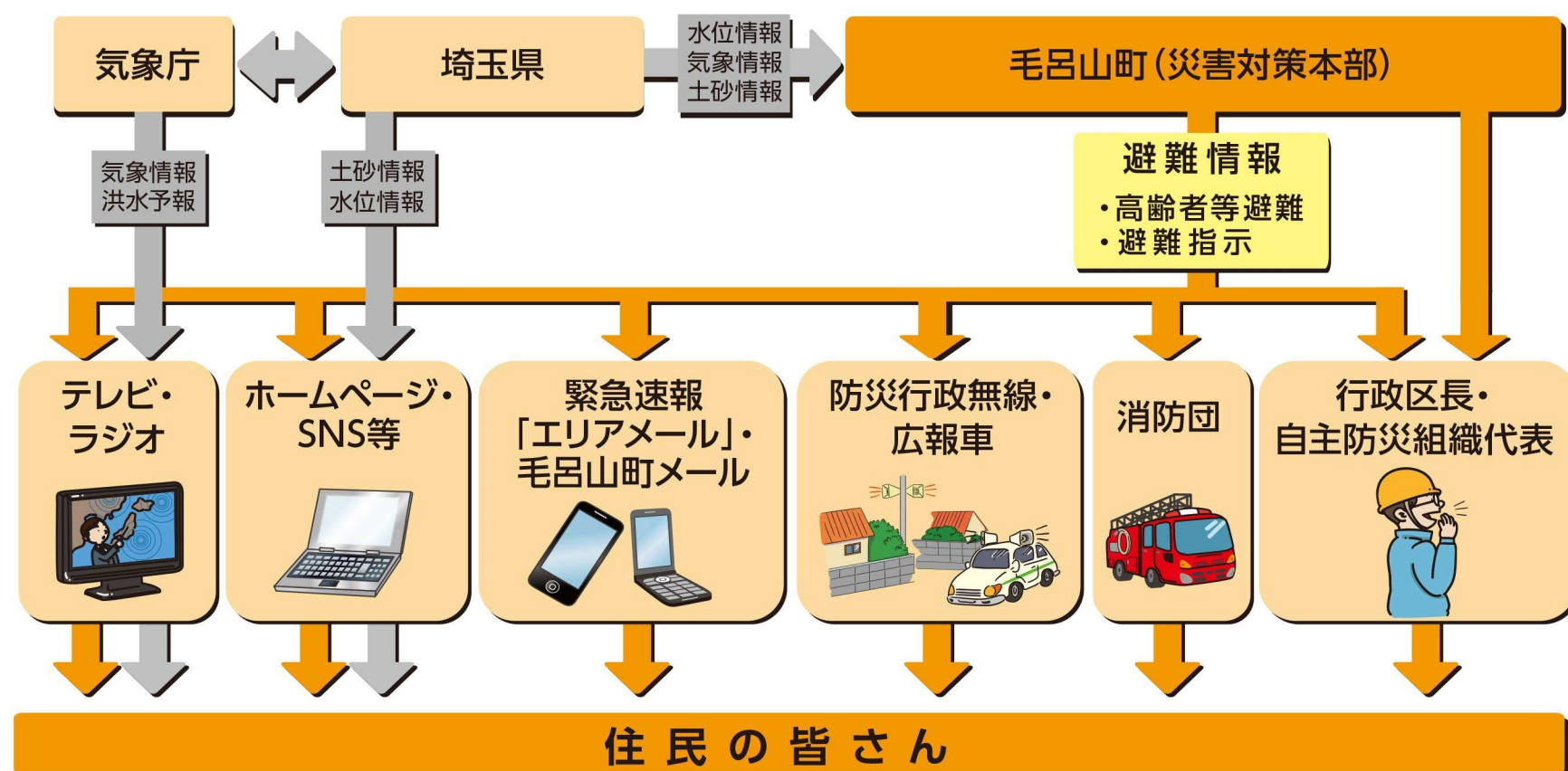


災害時の情報伝達

住民への伝達方法



毛呂山町から情報収集を!

ホームページ・SNS発信

公式ホームページのほか、LINEやTwitterといったSNSを使い、災害情報の発信を行っています。

毛呂山町公式ホームページ
<http://www.town.moroyama.saitama.jp/>



毛呂山町公式LINE



毛呂山町公式Twitter



ホームページ・SNS発信

毛呂山町では町民の方を対象とした、防災行政無線のメール配信サービスと電話応答サービスを開始いたしました。これにより、防災行政無線で放送した内容を、事前にご登録いただいたメールアドレスに送信、または電話での自動応答により確認する事が可能となります。

なお、西入間広域消防組合が、遠隔操作により放送する火災情報や、毎日放送される定時放送(下校放送など)は、メール配信、音声応答の対象外としておりますのでご注意ください。火災等に関する情報は、西入間広域消防組合で行っている災害情報案内テレホンサービス(電話番号 049-280-4333)でご確認いただけます。

メール登録方法

読み取りできない場合は
t-moroyama@sg-m.jpに
空メールを送信

- ①上記二次元コードよりサイトにアクセスし「空メール」を送信。
- ②本登録用URLが記載された「仮登録完了のお知らせ」メールが届きます。URLから本登録サイトにアクセスし、画面案内に従い登録。

電話で調べる

電話応答サービス

防災行政無線の内容を電話で確認できます。

0800-800-1165

情報を集めましょう

テレビで情報確認

テレビのdボタンの使い方



- ①リモコンのdボタンを押す
- ②「防災・生活情報」を選択する
※NHK、テレビ埼玉など

インターネットで調べる

埼玉県水防情報システム

埼玉県内の雨量・水位・ダム情報など



埼玉県 水防

気象庁

気象注意報・警報・特別警報、短時間大雨予報、洪水警報の危険度分布、台風情報、地震情報など



気象庁 注意報

川の防災情報

カメラ画像、河川の観測水位、水位予測など



川の防災

メールで情報確認

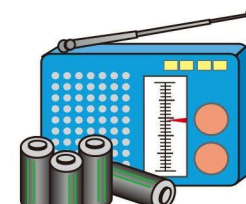
緊急速報メールは、気象庁が配信する「緊急地震速報」や国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報」を、特定エリアの携帯電話を対象に一斉に配信するサービスです。※メールアドレスの登録は不要であり、対応した機種種の携帯電話であれば自動受信されます(通信料・月額使用料・情報料は、無料)。設定等については、携帯電話会社各社にお問い合わせください。

非常時持出品・備蓄品

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

携帯ラジオ



- ☐ ラジオ
- ☐ 電池(多めに用意)

救急医療品



- ☐ 救急セット
- ☐ 常備薬(持病の薬等)

感染症対策

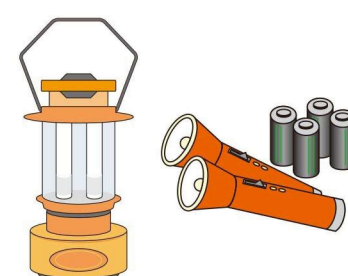
- ☐ マスク
- ☐ 手指の消毒液
- ☐ 体温計

非常食品



- ☐ 飲料水
- ☐ 乾パン
- ☐ 缶詰
- ☐ アルファ米
- ☐ 飴・チョコなど

ライト類



- ☐ LEDランタン
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 電池(多めに用意)

その他



- ☐ 現金(小銭多めに)
- ☐ ホイッスル(助けを呼ぶため)
- ☐ 着替え
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ 携帯電話の充電器
- ☐ タオル
- ☐ ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)
- ☐ 割りばし
- ☐ 紙皿・紙コップ
- ☐ 携帯トイレ
- ☐ 新聞紙
- ☐ ポリ袋
- ☐ 耳栓・アイマスク

----- 各家庭に必要なもの -----

- ☐ 赤ちゃん用品(ミルク、離乳食、おむつ等)
- ☐ 生理用品
- ☐ コンタクトレンズ、めがね
- ☐ 入れ歯や補聴器
- ☐ リュックサック

非常時備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低限3日、推奨7日)を生活できるようにしましょう。

飲料水



- ☐ 飲料水
(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水したタンクなど

非常食品



- ☐ お米(アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・飴・チョコ(菓子類など)

燃料



- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料

その他



- ☐ 生活用水(風呂などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具など
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など
- ☐ 歯みがきセット・ひげそりなど

ローリングストックで在宅避難に備えよう!

常に一定量の食料等を家に備蓄しておく方法です。普段から少し多めに食材等を購入し、古いものから食卓で食べ、食べた分だけ後から買い足します。備蓄品を無駄にせず、災害時も普段から食べ慣れた食品を非常食として食べることができます。

食べ慣れたものを備蓄しよう!

